**アンケートピックアップ**

**11月27日 株式会社セールスフォース・ドットコム　執行役員　北原　祐司　氏**

**問１ 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

外資企業ならではの貴重なお話を聞くことができてとてもいい学びとなりました。年度末が3月という固定概念に囚われず、1月といった他の月に決算を行うことで柔軟性をもって決めることの良さを感じました。アメリカ的な企業の業務や採用に関する考え方も知ることができ、とてもよかったです。セールスフォースのシステムやビジネスから学ぶことがとても多くありました。クラウドのビジネスにはお客さん目線であることや従業員のカルチャーが合っていることなど必要なことがいろいろとあることを学びました。(理工学部 化学・生命系学科 2年)

Culture eats strategy for breakfast の考え方は非常に大切だと思いました。企業側から人材を発掘する際に使うものかもしれませんが、雇われる側にも同じことが言えるのではないでしょうか。社風に合わない、目指す方向が違う、企業側と雇われる側の需要と供給が合わないために「現代の若者は3年で会社を辞める」に繋がっているのではないかと思いました。企業側も文化の合う人を求めるのと同様に、雇われる側も自分の文化に合う企業を見つけることが大切だと思いました。(教育学部　学校教育学科3年)

お金よりも大切にしていることに顧客の信頼、顧客の情報があるとおっしゃっていたが、春学期の講義でファクトリエの山田氏が同じ事を言っていて、共通点だと思った。お客様の信頼が会社の存亡に響くし、お客様の口コミなどが新たな客を呼びかけることもあり、会社の規模にかかわっている。会社を守るセキュリティなどに多大な金を使うことは大切だが現実の顧客の存在は大きいと思う。（経営学部　1年）

Success Managerの話はとてもおもしろかった。ただ売るだめでなく、お客様の満足度を上げて解約っを減らすという考えはとても重要で実際にグラフを見て納得ができた。また、投資の仕方も納得できるもので、1つ1つの選択や決定にしっかりとした根拠を持っていて、セールスフォース・ドットコムがどうしてこれほど成長できたのか理解できた。もう1つ感じたのは英語の重要性だ。英語を話せれば、英語圏の人だけでなく、世界中の人と知りあえて自分の可能性も広がるので頑張りたい。(経営学部　1年)

英語が話せると、コミュニケーションがとれる人数が１０倍になる。英語ができると本当に強みになる。就職するときはその会社の各地での動きをみるべき。社員に新しい価値を与える環境でないと、新しい価値を見出す社員は集まらない。（経済学部　１年）

普段はローンチしたてのベンチャーやCtoCの企業が中心だったので外資系企業の話は新鮮で面白かったです。自分の勉強不足で知らない単語も度々出てきましたので大変ためになりました。Success managerという仕事も聞いたことのない単語の一つで、とても興味がわいたのでもう少し調べてみたいです。面白かったエピソードは起業当初マーク・ベニオフ氏が競争相手のイベントのタクシーにアドを出してケンカを売ったという話です。流石と思いました。（経済学部　1年）

歩き回って授業をするのは、この授業では初めてだったので、驚きました。流石外資系の会社の人だと思いました。私は外国に住み外国を拠点に働くことに憧れているので、塾を辞めてIBMに務めることになった経緯、大学までは英語をどの程度勉強していたのか、急に外資系に務めようと思った理由を聞きたかったです。Salesforceは知りませんでしたが、右肩上がりの成長を続けている会社であることがよくわかりました。北原さんの欧米風な考え方が垣間見え、日本人として外国人と対等に働くのはすごいと思いました。（理工学部　機械材料海洋系　2年）

外資は全く知らないので、今回の講義は新鮮でもあり難しくもありました。Salesforceさんの数々の仕組み（version upが1回で済むマルチティナントメタデータや、trailblazerの黒や金のパーカー、および人材育成のための無償でのオンライン教育など）が成功に貢献しているのかなと思いました。またドラッカーの言葉である「Culture ears strategy for breakfast」という言葉が、今後の就職活動にかかわってくる（文化に合わない人材の登用は会社を潰す）ということが最も印象的でした。（経営学部　1年）

**問２ 今後のアクションにつなげていきたいこと**

今日のクラウド化の話を聞いて、やはり将来ソフトウェアや情報通信技術の知識は必須であると感じました。それにもかかわらず、日本にはそのような知識を持っているSEができる人の数が少ないと思います。私は電子情報系の学科でそういった知識を学べる環境にいるので授業や課題をきちんとこなして行きたいと思っています。プログラミングなどまだまだ理解ができていないので自習の時間も増やしてよりプログラミング能力を上げて社会に出たいです。（理工学部　数物電子情報系学科　1年）

IT最大のイベントのDreamforceが気になった。会社の人の講義を聞くだけではなくて、他の客の話を聞くことで、客同士で良い情報交換ができるし、噂などではなく生の今の情報が得られる点で非常に有益だと思った。積極的にそのような場があるのなら参加してみたいです。　（経営学部1年）

お金持ちと英語ができる人は群れるという話には納得ができたし、人とのつながりを大切にしたいので英語を頑張ろうと思った。た、「能力に応じた平等はあるが、全くの平等はない」「順番は回ってこない」という言葉が印象的で、これから意識していきたいと思った。（経営学部　１年）

“英語ができると知り合える人が10倍になる”から英語力を伸ばしていこうと思いました。就職する際は、その会社の各地での動向も見て判断しようと思います。“順番は回ってこない”“平等はない”ということは怖いと思ったけれど、心に留めておこうと思いました。（理工学部　化学・生命系学科　2年）

**授業スタッフの感想**

初めて外資企業のお話を聞けたので勉強になることが沢山あった。一番印象に残っているのはセールスフォースに関するものではなく、「2番目を知ることが大切だ。なぜなら2番目を知らないと1つ目のことを当たり前だと思ってしまうからだ」というお言葉だ。今、自分を含め多くの学生は「日本」に関してしか知らず世界の国々について詳しく知らないので日本でのことが当たり前になっている。この状況を打開するためにも海外について深く学び視野を広げ、考えを柔軟にしなければならないと思った。